

障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（大阪府・枚方市）

実施事業所

社会福祉法人 高潤会 いそしまカーム

導入した設備

高床式砂栽培設備

事業の応募のきっかけ（事業所が抱える課題）

軽作業・清掃を中心に平均工賃35,000円を維持してきましたが、利用者のニーズの多様化や高齢化に伴い働き方にも多様性が求められ、また、さらなる工賃向上を目指し、軽作業以外の作業開発を検討している際に、近隣農家の生産する野菜販売を依頼されたことから、農家との交流が広がり、そういう中で農家の後継者不足が深刻な地域課題となっていることを知り、後継者のいない農家からの複数の農地の寄付を受けたことを期に稻作を開始しましたが、稻作では利用者への工賃還元率が低い状態であるため、栽培品目・方法を変更する必要性が生じました。令和5年度から寄付して頂いた農地の一部を使用し、低成本耐候性ハウスと高床式砂栽培設備を導入しチンゲン菜の栽培に変更を進めていますが、農地の一部しか使用していない状況であることから、さらなる工賃向上を目指し高床式砂栽培の事業拡大を進めていきたいと考えています。



事業内容

高床式砂栽培設備を増設
チンゲン菜・小松菜の栽培を行う



生産設備導入後の効果

高床式砂栽培設備が増設されたことで、利用者の就業数が増加（6人）。障がいのある人の多様な働き方に寄与することができた。外作業を希望する利用者も日々存在する中で、それぞれの個性や能力を活かし、社会参加を促進することができ、また、就業数の増加は利用者の満足度を上げる結果となった。